



ひよなや

ふれあい

■シルバーだより■

第24号

1997年1月1日

発行

社団法人

豊中市シルバー人材センター

豊中市中桜塚3丁目3番1号

TEL 856-1777



はるの いぶき

新春恒例の豊中市消防出初式は、本年も大門公園で行われました。消防本部、消防団員、女性消火クラブが活躍しました。



見事な一斉放水

1/5

消防出初式



震災救助の訓練

おめでとう！成人の日。おとなになったことを自覚し、頑張りましょうと、豊中市民会館で式典が催されました。



沖縄市へ友好親善大使として

1/15

成人式



盛装で心も晴れやかに会場へ

1997 ・ 1 目次 ■シルバーだより■ ふれあいNo.24

はるのいぶき

表紙

写真 藤田 泰通
題字 古市 恒義

消防出初式
成人式 2

新春ご挨拶

理事長 宮崎 英三郎
豊中市長 林 實

役員一同 3

新春雑感

事務局長 岡本茂雄

5

私はッふれあいッ帽子 空き缶回収機管理業務

会員のひろば

高田山麓……………第5班 藤本 哲夫
胃がん手術中
お花畑の上を飛んでいた……………第13班 原田 天豊
悲喜こもごもの転宅……………第4班 樋上 俊次
忘れんとまた来てな……………第4班 徳永美恵子

6～7

バスツアー

爽秋の飛鳥史跡の旅 編集委員 中 春雄

8～9

パンとブドウ酒と恋(その二)

第13班 岡本宗五男

同好会だより

書道同好会(出品4点)
ハイキング同好会

10～11

想いのたけをふみに託して…

第4班 江藤 翠

おもいの儘に

第4班 徳永美恵子

年頭に当たって



理事長
宮崎英三郎

新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様方には、お健やかに
新春をお迎えのことと、心からお
慶び申し上げます。

旧年中は、当センターの事業運
営に格別のご理解・ご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

新春を迎えて



豊中市長
林 實

明けましておめでとうございま
す。市民の皆様には輝かしい新年をお
迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、豊中市政の推進に格別
のご理解とご協力を賜りまして、
厚くお礼申し上げます。

昨年は、O-157による食中毒
事件をはじめ、金融不安の続発な

また、昨年は沖縄の基地返還問
題、高級官僚の汚職、衆議院議員
の総選挙等々が新聞紙上を賑わせ
ておりましたが、なかでも一番関
心を持ったのは、病原性大腸菌O
157の食中毒でございます。

豊中市においても、感染者が多
数にのぼり、当センターでも食事
の用意を担当されている家事援助
サービスの会員さんに培養検査の
協力をしていただきましたところ
でございます。

さて、皆様すでにご案内のと
おり昨年十月に、「高齢者の雇用
の安定等に関する法律」が一部改
正され、それに伴い連合本部事業
として、社団法人大阪府シルバー
人材センター協議会は、三人の職

ど、多難な年でありましたが、市
民の皆さんのご協力をいただき、
伝統芸能館や堀田老人憩の家が完
成し、豊島体育館の改築や豊中ロ
ーズ球場を新装オープンすること
ができました。また、当市の福祉
施策の拠点となる(財)豊中市福祉公
社の設立をはじめ、新婚世帯向け
家賃補助や脳ドック検診の助成な
ど、これからの高齢化時代や高度
情報化時代にふさわしいまちづく
りに全力で取り組んでまいりまし
た。

本年も引き続き、震災に伴う恒
久住宅等の復興対策をはじめとし
て、当市のまちづくりの骨格とも
いえる四大プロジェクト事業など、
福祉のまちづくり、快適なまちづ

員体制を非常勤三人を含む七人体
制に、また新規事業として、ミス
マッチ解消事業を始め独自事業創
出の研究、就業方法の研究開発等
を、そして従来からの技能訓練事
業をより充実さすなど、シルバー
人材センター事業推進体制の確立
を図っております。

ところで当センターの事業実績
でございますが、この三年の不
景気の影響からか、この三年を
見てまいりますと、会員数は三百
五十六人、率にして約四十一パー
セント増加したものの、契約金額
は三千四百万円約十二パーセント
の増に止まっております。
しかしながら、各会員のご努力
により平成八年度の実績としまし

くりのために全力で取り組んでま
います。とりわけ本年は、四大
プロジェクトのうち、大阪モノレ
ールが大阪国際空港まで開通し、
阪急宝塚線の新下り線も開通の予
定であり、また新病院や生活情報
センター(仮称くらし館)、刀根山
老人保健施設、東豊中老人デイサ
ービスセンター、クリンランド
の余熱利用施設「クアハウス」、
更には震災に伴う災害復興住宅及
び南消防署の増改築工事が完成す
る予定となっております。

今年、私の二期目市政の仕上
げの年であります。
当市は、震災復興に伴う多額の
財政負担に加え、景気の低迷によ
る税収の減少等により、財政環境

ては前年度に比べ十パーセント前
後向上するものと予測を致してお
ります。

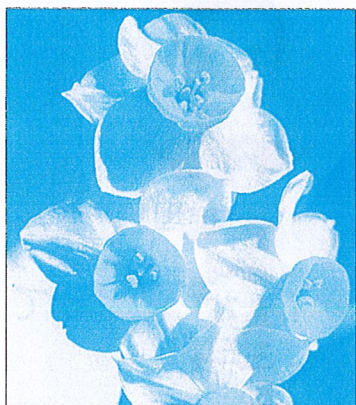
私をはじめ役職員一同は、今後
とも事業実績向上に向けて微力な
がら精一杯努力をして参りたいと
存じます。

どうか、会員の皆様におかれま
しても、「自主・自立」「共働・
共助」の精神で当シルバー人材セ
ンター発展のためご支援とご協力
を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、これから
もご健康に留意され、ますますご
活躍されますようお祈り申し上げ
まして私の新年のご挨拶といたし
ます。

は、大変厳しい状況にあり、市政
運営は非常に多難であります。少
子・高齢化や国際化、文化化、
高度情報化などの急速な進展の中
で、二十一世紀の豊中のあるべき
まちの姿をしっかりと見据え、来
るべき地方分権の時代にふさわし
い効率的な行政システムの確立を
図りながら、活力と魅力にあふれ
た、そして災害に強いまちを目指
して力強く邁進してまいりたいと
思っております。

今年も一層のご支援とご協力を
お願い申し上げますとともに、新
しい年がシルバー人材センター会
員の皆様方にとりまして素晴らしい
年となりますようお祈り致しま
す。

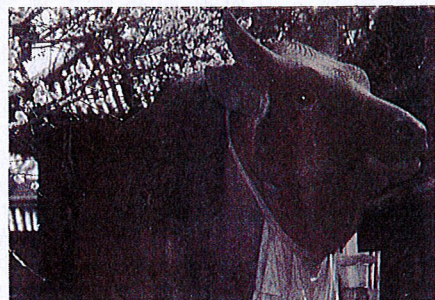


理事 理事 理事 常務理事 副理事長 理事長
 織田照子 小川晋一 山路政市 岡本茂雄 水上利夫 宮崎英三郎

役員

あけまして
 おめでとう
 ございます

監事 監事 理事 理事 理事 理事 理事 理事 理事 理事 理事
 岡本宗五男 古市恒義 出嶋慎一 川手洋三 徳永美恵子 藤本哲夫 藤井健二 阿南和男 宇都宮義典 吉川武二郎 上田善治 藤田泰通 林泰野



第七班	第六班	第五班	第四班	第三班	第二班	第一班	地域班役員
※ 下幸田	※ 川上	※ 小原	※ 徳里	※ 橋本	※ 大森	※ 青木	※ 河西
登朋朝茂正徳つや義政アヤムツ俊	井田中藤原英仲絢昭茂宗美恵子	加藤藤原英仲絢昭茂宗美恵子	住田木永	宮村	久保田	浦北	久保田
和美和	朝治男	茂義雄	正徳子	つや典	義政子	アヤ子	ムツ子
登美子	朋治	朝男	茂義	正徳	つや典	義政子	アヤ子

第十八班	第十七班	第十六班	第十五班	第十四班	第十三班	第十二班	第十一班	第十班	第九班	第八班
※ 撫養	※ 金子	※ 梶栗	※ 竹中	※ 内藤	※ 秋水	※ 横野	※ 前川	※ 前田	※ 吉間	※ 石橋
撫養	金子	梶栗	竹中	内藤	秋水	横野	前川	前田	吉間	石橋
定勝	栗由	中マサノ	藤光	水野	秋子	横野	前川	前田	吉間	石橋
文蔵	透造	マサノ	光子	水野	秋子	横野	前川	前田	吉間	石橋

新春雑感

事務局長

岡本茂雄



シルバー人材センターに勤務して二度目の新年を迎えた。一度目は、四月からの勤めであったが、一月の大震災で豊中市も大きな被害を受けるなどの後で、正月気分どころではなかった。昨年的一年間も、新聞紙上をにぎわせた事件が多くあったが、私には平穏な一年であった。心配していたセンターの事業実績も順調な推移であったし、又幾つかの懸案事項も解消することができた。

平成八年度の契約金額・会員数・就業延人員などは、おそらくセンターの設立以来の数値になるであろうし、又大きな事故もなく新年を迎えられたのである。

懸案の方では、シルバー人材センター事業の制度改正である都道府県レベルの「連合」が、十月からスタートした意義ある年になった。会員の方々には、直接大きな

影響はないが、シルバー人材センターの事業発展につながることは確実である。シルバー人材センターが受注できる仕事は、臨時的・短期的という制約はあるが、この改正によって、市外の仕事も受けることができる。

私は、仕事の依頼があれば、担当者だけの判断で決めないようにと、云っているが、これも少しでも仕事の範囲を拡げることになればと思うからだ。

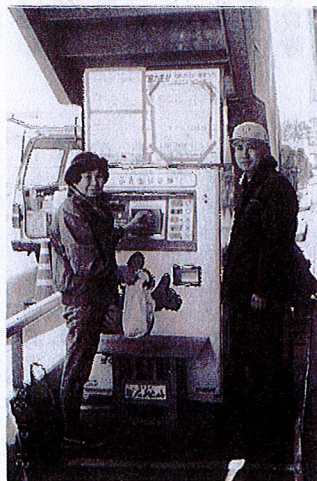
今日迄は、シルバー人材センターが受注してきた業務内容に大きな変化はなかったが、今後は、この点でも変化があるはずである。そして、新春に想うことは、平成九年が、一步でも二歩でも前進するようにということであり、また私自身は「我以外皆師也」という気持ちで若い職員の兄貴分のような存在でありたいと思うのである。



積込完了、ハイ発車



私は「ふれあい」帽子



武井利雄さん(右)

全国のシルバー人材センターの統一マークです。豊中では別名「ふれあい」帽子といえます。この帽子から覗いた皆さんの活躍ぶりをお伝えしましょう。

このたびは豊中市役所本庁舎の東側にある「空き缶回収機管理業務」担当の南桜塚在住・武井利雄さん(65)を訪ねました。二日毎の交代で、曾根の牛田さん(66)と担当。9時から17時まで頑張つて居

られます。丁度シルバーセンターのトラックが荷台一杯に圧縮された空き缶を積込んで発車です。ホツとした時に、「この回収機に空き缶5個入ると小さい補助券を1枚も入らえます。これを別台紙に貼つていつて表裏全部で100枚で500円の図書券が受領出来るのです。資源のリサイクルめざしてね。有難う」と、その都度言つてくださるのがホントに心に沁みますよ。楽しんで

く仕事をやらしてもらってます。とのことでした。(編集者)

《アルミ缶のリサイクル効果》再生に必要なエネルギーは、原料のボーキサイトから作る場合のわずか3%です。アルミ缶は電気の塊です。アルミ缶1個リサイクルすると40Wの電灯を半日灯せます。

《スチール缶のリサイクル効果》再生に必要なエネルギーは、鉄鉱石から新たに鉄を作る場合の35%です。



高 田 山 麓
たか まど さん ろく



第五班
藤本 哲夫

街には未だ、残暑が居座つてい
るが、野を渡る風の爽やかな、初
秋の或る日。高円山麓を散策した。
春日大社の深い森に覆われた、
歴史の道をたどり抜けると、閑静
な集落、田園をぬう高畑の、のど
かな道に出る。

白い土塀の続く道に沿って、不
空院がある。本堂横に縁結び、縁
切りの神様が祀られ千羽鶴などが
奉納されている。

奈良市街の「きれいどころ」の
信仰を集めているそうだ。その筋
向いに修復の成った、新薬師寺が
ある。萩で名高い古寺である。小
じんまりとした境内に、本堂、鐘
楼、地藏堂と、つなぐように萩が
植えられてある。

本堂は中央に本尊を安置し、そ

れを取巻き守るように十二神將が
立ち並んで居る。めずらしい仏像
の配置である。

寺抄によると、天平の姿によみ
がえった、本堂内部は天井を張ら
ず、我が国最古最大の化粧屋根裏
が美しいとある。

寺名の「新」は、「あたらしい」
ではなく、「あらたか」の意味だそ
うである。

新薬師寺から、高円山麓の裾を
なぞりながら南下すると、山の中
腹に白毫寺がある。ひなびた山寺
の趣きである。山間から境内に続
く百二十余段の石段の両側には、
萩が咲き乱れ、一層その感を深め
る。

境内から奈良市街及び、生駒山
系の眺望がまたすばらしい。此の
遠景を借景として昼餉をとり、帰
路についた。

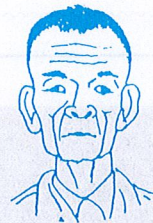
歩いて来た道を振り返ると、高
円山の全貌と北に連なる春日山が
視界におさまる。此の二山の間か
ら、「それはそれは大きな丸い月が
昇るのだ」と教えられた。

白壁に影を映して萩ゆるる
合掌の手に翹たむ秋の蝶
足垂れてすわる寺縁や萩の風
静けさや露の光る萩の寺
萩満ちて程よき人出白毫寺
参詣者続く段道萩明り

天高く蒼天にめぐまれた良き一
日であった。万歩計は一万八千余
歩を刻み、駅前で飲んだコーヒー
がうまかった。

胃がん手術中

お花畑の上を飛んでいた



第十三班
原田 天豊

世の中に生有る物にはすべて死
が有る、(人間は何故死ぬのでしょ
う私は千年も万年も生きたいわ)
と言う小説があった。生と死との
間には幼年時代から青年時代そし
て働きざかりの壮年時代、功成り
名とげた後に熟年が控えておる。

一生の内一番楽しい時代、又忘
れる事の出来ない時代は、人それ
ぞれに違うと思う。私等大正生ま
れの者には何と言つても戦争体験
が一番印象に残つて居る。特攻隊
員に指名され出撃して行く戦友を
(俺も後から行くぞー)と言つて、
飛びたつたゼロ戦が見えなくなる
迄見送つた。つぎつぎと出撃して
行く戦友、居残りの私えの出撃命
令は出なかつた。終戦後、侵略と
か慰安婦等、色々話題になつてお
りますが兵隊は明日の命の保証は
無い、毎日生と死の間を行き来し
ていました。生き残つた私等は南
の空に若い命を捧げた戦友の分迄
長生きして、世のため人の為に何
事か尽くす義務が有ると考えてお
ります。

人の死は後に骨以外は何も残ら
ないが、私は魂はこの世に残ると
考えております。戦友や身内の者
や知人の夢を見るのがその一つで
ないかと思ひます。私は何か楽し
みを考えて生きて居ます。この世
は闇だと言う人もおられますが、
楽しい事を夢見て暮らしたいと思
ひます。長寿を保つ人が増えて来
た今日私も長生き出来るかも知れ
ません。死を迎えて瘦せこけて、
あの世に行き若い凛々しい姿の戦
友に笑われるので無いかと心配で
す。死とは何ぞや、まだ行つた事
も見た事も無いあの世を見に行く
のも楽しみの一つでわなないでし
うか。生ある限り毎日を大切にし
て生き抜くこと、決して弱音わか
かず明日に希望を持ちましよう。
「死んで花実が咲くものか」生有
る限り花も実もつきます。
胃がんの手術中、私は見渡す限
りの花畑の上を飛んで居た。「原田
さん呼吸が止まった大きく息を吸
いなさい」とほほをたたかれ、麻
酔が醒めた声が大きく成り又小さ
くなつて行く。訳が分からないが
腹が割れて居て肺に空気が入ら無
い。ふと航空隊で私は呼吸を三分
十五秒止める記録をもつて居た事
を思い出した。呼吸をすると腹が
猛烈に痛い。腹の中を掻き回して
居るのが分かる。痛いよー麻酔が
切れたーと叫んだが声が出ない。
手を動かそうとしたが固定されて
居る。頭も動か無い。されるがま



第四班
樋上 俊次

小生、去る平成八年七月二十六

悲喜いもごもの転宅

ま、まな板の鯉だ。そのうち腹の上に冷たい機械を乗せて針がプツリと刺さり、キリキリと糸が閉まり、カラカラと音がしてプツンと糸を切る音すぐ機械が移動してチクリ痛いを通りこす痛み、ああこれが地獄と言う物か、回診の時覗き見すると腹を四十五センチ開かれその糸の縫目が美しくきちんとそろって居る、見事な物だ。胃がんの手術のお陰で地獄・極楽を見せてもらった。私は幸福な男だと思ふ。闘病中幾度も地獄の苦しみを味わったが麻酔が醒めた時程の事は無かった。

八月十四日の台風で山荘の第二鶏小屋の屋根がバラバラに吹き飛んでしまった。台風は主人の留守中に私(台風)が来ました。と知らせて行つたのだ。雨を持って来ない台風は来るなと言いたい。秋野菜の時く季節が来たのに雨無しでは蒔いても芽が出ません。気がかりあせっても仕方が無い。テルテル坊主を逆さに吊り下げて雨ごいでもするかな。

日、最新の設備と最高の環境を、歌い文句のもとに建築された十三階建てマンションの七階の一室に転宅し住むこととなったのである。なるほど建物内部の間取りと云い、素材の良さ、更に耐震性から見ても申し分のないものであり、又建物と建物の間の空間には小公園があり、そのうえ駐車場、駐輪場にしても、申し分のないもので、まさに、歌い文句通りのマンションであり、快適な暮らしには違いないのであるが、そこに住む人間の方が、快適からほんの一寸だけ、ずれていたのである。

それは私七十七歳、妻七十三歳と云う、いずれも大正生まれの老齢であり、自然の中で成長し暮らして来たのである。その夫婦が最新の設備を完備したマンションに住みついたのである。生活のリズムがうまく噛み合うはずがないのである。転宅の時には長男の嫁と次男夫婦が手伝いに来てくれ、いや手伝いと云うより息子たち三人が殆どやってくれたのである。判りにくいところは、その都度教えてくれたのだが、忙しさのためうわの空で聞き流していたものか、後で全然思い出せず、未だに間違えてお風呂のコールボタンを押して水のままのシャワーを浴びてみたり、てんやわんやの生活を送っておるもの、こんな家に住むのだつたら、コンピュータとかハイテクとやらの端だけ



第四班
徳永 美恵子

忘れんと また来てな

でもかじっておけば良かったな、と思ひ後悔しておるのだ。然しこんな贅沢な文句の言えるのも夫婦揃って元気で居れるからと思ひ、健康には充分注意して、これからも快適な生活を送りたいとおもうものである。

家事サービスの仕事を頂いてから五年、週四日・三軒のお宅をフル回転している。

八十才前後の皆さんは、まるで老人大学の先生のように、色々と教えて下さり嬉しい。今日は或る日のお仕事風景を書いてみよう。

慌て者の私は失敗も多い。そんな時はテレビのあの猿さんのポーズで反省、反省と繰り返す姿にAさんは、気にせんでもええよと慰め乍ら、涙を出して大笑い。私もつられて苦笑い、先日拭き掃除をしていると、コタツの中からガラス越しに秋空を眺めていたAさんが、小さい声で何か唄ってた。

何気なく聞いていると、昔、私も習った小学唱歌で「いなばの白兔」と言う歌だった。

♪大きな袋を肩に掛け、大国様が来かかると、そこに、いなばの白兔。此処まで聞こえた時、次は何やったかな？と独り言、思わず私は

♪皮をむかれて丸裸。♪大国様は哀れがり。♪と唄った時、Aさんも♪綺麗な水で身を洗い。♪二人で唄った。唄い終るとAさんは驚いて、ナンヤ知ってたん。私がうなずくと、Aさんは、昔の事は直ぐ忘れてしもてなあと、ポツンと声を落とされた。

三時のお茶を頂き乍ら、昔、小学校一年生の頃の話になり、私が国語の本の初めは、ハナハトマメミノカラカサだと思うけど？の問いにAさんは、何でもよう知ってるなあ。今日は古い事を勉強させてもろたわ。と嬉しそうに見えた。

此の言葉は亡き母が弟をヒザに乗せて、口ずさんでいた。私が習った時代も、今ではなつかしい。サイタサイタサクラガサイタ。コイコイシロコイ。あれから六〇年が過ぎた。

帰宅時間が来て挨拶をすると、Aさんは少し淋しいお顔で、此の時が一番嫌いや、と言いつつ、玄関のドアを強く開けて、私に何時もと同じように、此の次も忘れんと来てな。バスに氣いつけて帰つてよ。二人共、淋しい思いが残る晩秋の夕べだった。

楽しかったバスツアー (11月15日)
爽秋の飛鳥史跡の旅

このたびのバスツアーは、総勢78名、観光バス二輦での、ほんとはシルバー仲間を見事に、気分的に若返らせてくださった企画で、大成功でした。先ず、お礼を申し上げたいと思います。

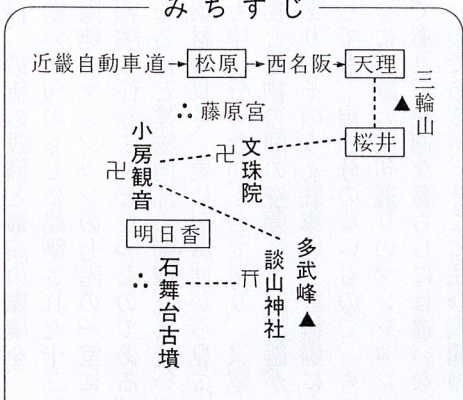
皆さまご存知の通り、奈良明日香辺りは史跡・古墳がギッシリと集まっています、それなりに優雅で落ち着いた、この地方特有のたたずまいを見せていました。

今日の第一章は朝の内に、天香久山の北側にある「ぼけ封じ霊場巡拝」で「安倍文殊院」と「小房観音」に参りました。それぞれの若いお坊さんにシルバーに対するボケ防止の愉快な説明で、ボケなど何処かに吹き飛んでしまうほど笑い笑いの連続でした。

第二章はお昼過ぎになって、多武峰観光ホテルに着いてすぐ、お食事となりました。大広間で、それぞれ五人程が卓を囲んでの焼肉料理です。これまた若者を凌ぐカロリー万点をタップリといただいた

てから、ホテルの近くにある紅葉に映える談山神社にご参拝と境内散策でした。終りの章は高松塚古墳にも近い「石舞台古墳」の見学をどきどきとして、皆さん土地の名産をお土産にアレヤコレヤと買い整えて、バスに乗車、途中渋滞で予定より一時間程遅れましたが、今日一日の楽しかったツアーの余韻が消えることなく、市役所前に帰着解散となりました。

みちすじ



笑いをまじえて懸命に説法を聞く

◎ 頭からのぼけ封じ
安倍文殊院

「第一章」大和ぼけ封じ霊場へお参り
老人ぼけ防止の最善の策は信仰による自己研磨・人間同志の心の通いと日々目的を持った生活を送ることだといわれています。
長寿にして叡智益々栄えたる姿、即ち長者の相、幸福の相をより多くの人々に得ていただくことを祈念して…との説法です。



本堂内で
一人一人ご祈禱を受ける



金閣浮御堂

阿倍仲麻呂公像
弁財天
安置

ほけない人の八ヶ条

- ① 信仰心厚く、ほけ封じ御本尊の御威徳を信じ、朝夕のおつとめをする人
- ② テレビを見すぎない人
- ③ よくお話をする人
- ④ 物忘れを気にしない人
- ⑥ 人の世話をよくする人
- ⑦ 感謝の気持ちを忘れない人
- ⑧ いくつになっても張り合いと生きがいを求めている人

◎ 5番が抜けています。気がつかれた方は、大したものです。

ほける人の七ヶ条

- ① 信仰心なく、仏さまを、おがまない人
- ② 人の言い分を聞かず自己中心でがんこな人
- ③ すぐ腹をたててどなったり短気な人
- ④ 仕事いちずで趣味のない人
- ⑤ 友だちのいない人
- ⑥ 人を信じられず物・金だけगतよりの人
- ⑦ 笑わない人

身体からのほけ封じ

◎ 小房観音



大和随一の観音霊場

『第二章』

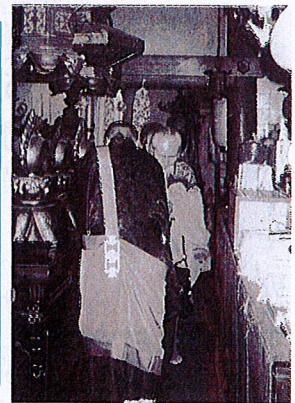
多武峰観光ホテルで昼食と談山神社参拝

ほけ封じ霊場でのお坊さんの説法が長びいて予定が遅れて十三時、いささか空腹を感じる時に多武峰観光ホテル大広間で、理事長さんのご挨拶もあつて後、昼食となりました。五人が一卓を囲んで、大



紅葉に囲まれた談山神社十三重塔(重文)

- 「いかせ命」の説法
- 食べすぎない
 - 孤独にならない
 - 転ばない



身心浄化の祈禱を受ける

和名物料理百選第一位”の義経鍋です「ニワトリ・鴨・ウズラ」と鳥肉を焼きながら鉄板の真中では、豆腐・野菜類が色々とグツグツ煮えているのをタツプリといただいてから、やおら席を外して紅葉に映える藤原鎌足公をまつる談山神社参拝と境内の散策でした。

『終りの章』

高松塚古墳にも近い「石舞台古墳」

昭和8年と10年に本格的発掘調査の結果、玄室は長さ約7.6m、幅約3.5m、高さ約4.7mで大小30数個の花崗岩が使用され、石の重さは総重量約二、三〇〇tという大規模な古墳であることが判明した。



昔、狐が女性に化けて石の上で舞ったとも言われる石舞台

● このたびのツアーは奈良飛鳥の地を訪ねるといふ、距離的に日帰り好適地で、紅葉のシーズンでもあり、バスツアーでなければ、ちょっと回りにくい地域を選んでいただいて、楽しく快晴爽秋の一日を過ごすことができました。有難うございました。

編集委員 中 春雄記



(会員のひろば連載)

パンとブドウ酒と恋 (その二)



第十三班 岡本宗五男



ある日、フランス語で書かれたハガキが舞い込んで来ました。日本国内で投函されたものです。発信人はニューヨークで親しくなったスコットランド人からでした。心配になりました。ハガキには、「今、私は日本に来ています。び

つくりしたでしょう。先日新幹線から大阪の街を眺め、ここに貴方が住んでいるんだワ」と想い、昔の事を思い出していました。又、関西に来る機会もありません。私は今、フィアンセの彼の実家が姫路なのでご挨拶に伺ったのです。これから、東京のベルリッツ・ラウンゲージ・スクールで英語の教師をすることになっています。来月、結婚します。彼は病院勤めの医者です。…云々」と書いてあります

た。何ヶ月か後に、東京へ出張した機会に再会しました。

彼女とは、NYに駐在することになって最初のクリスマス・パーティーで知り合ったのでした。彼女も同じ外国人(?)と言うことで話しがはずみました。彼女はコロンビア大学でホテル・マネージメントを専攻しているということでした。まだNYに来て一年ながら、在米経験の先輩ということで、週末にはNYの観光案内を引き受けてくれました。グッゲンハイム美術館、セントラル・パーク、ジュリヤードでの音楽会、マジソン・スクエアー・ガーデンのフットボールゲーム、フラッシングメドウズのテニス・トーナメント、ミュー

ージック・シティーでのオペレッタなど。

私が、NYに一年半駐在した後、ポートランド市に居を移した年の暮、クリスマス休暇を利用してやって来ました。今度はこちらが案内する番です。マウント・フードヘスキーに行くことになりました。車にチェインを巻いてぐねぐねと山頂近くまで、登っていったのですが、一週間は降り続いた雪が側道に壁のように積もっており、当日はかなり吹雪いていて積雪も相当あった所為で、道の両側は先端に赤い標のついた細いポールが立ってあるだけなので、もうどちらが左で、どちらが右か判別出来な

いくらいでした。それで、とうとう、側道の雪の深みにはまり込んでしまいました。押したり引いたり、いろいろ手をつくしてみましたが、ニッチもサッチもいなくなってしまう、あきらめて車を放置してひきあげようとしたところに、上の方から軽トラックが降りてきました。難儀をしている私達をみるや、ウインチのロープを出して牽引してもらったお陰で、ようやく無事脱出することができま

した。結局その日はチェンバレーン・ロッジ近くのゲレンデでスキーを楽しむことになり、宿もそこにとる事にしました。その時、飲み明かしたボジョレ・ヌボーの味は忘れられないものとなりました。ロッジの売店で買った毛糸のスキー帽を今も大切にしています。その彼女は今もベルリッツで教鞭をとっています。

元々、彼女の実家はスコットランドのダンディーで小さなホテルを経営しており、弟さんが後をつがれたそうで、自分もそこで稼業の手伝いでもするつもりでアメリカへ留学したそうです。その弟さんは、彼女が結婚して間もなく、若くして亡くなられたそうで、その母親も後を追うように最近、他界され、ホテルも人手に渡ったそうです。

今、私が手掛けています「日本語テキスト」のチェックをお願いしています。フランス語は、忘れないようにと簡単な手紙はフランス語でやり取りしようとしていたのを覚えていたのでしよう。やがて、推敲も終わり、出版したいと思っています。

同好会だより

書道同好会

第十四班 水野總一郎

書道同好会に入会してから、月日は早く進んでも、なかなか筆は

思うように運んで呉れません。せめて年賀状ぐらゐは毛筆で書けるようにと思ひ乍ら勉強をしてみました。

上手、下手は一切関係なく皆さんとご一緒に、いつも一年生のつ

書道同好会・ハイキング同好会

もりで練習をしています。いよいよよかな文字を教えていただく段階になりました。

むつかしく考えないで気安く楽な気持ちで参加して下さい。途中からの入会も、初めての方

でもご心配なく指導をいただけて下さい。そして筆を持つ楽しみを味わって下さい。

字を書きながらお話しの出来るのもまた楽しいことです。



おもいの儘に

第4班
徳永 美恵子



クラス会

再来年^{さいらいねん}は70ねと

おさげの写真

廻わし乍ら見る

あの頃を

あだなで呼び合う友は亡く

思い出話

泪ウルウル

紅葉の中を

縫いゆく川くだり

しぶきがくると

寝ころんでみる

どこまでも

黄金色^{こがね}した並木路

マラソンランナー

汗をぬぐいぬ

青空を

バックに燃ゆる紅葉の

しづくポツンと

見つけたり

物故者の

名を次々と呼びあげる

僧りよの声に

秋静かなり

あとがき

昨年末より酷しい寒さが
続いています。

会員の皆様には、新しい
年を目出たくお健やかに、
お迎えになられた事と、衷
心よりお慶び申し上げます。

世間は相変わらず、騒がし
いことが続いています。が、
これも日本の現世の流れと
して詮ないこと。私達先輩
がとやかく言っているより
も健康保持に留意して長い
人生を楽しく過ごして行き
たいと思います。

さて、理事長の新年ご挨拶
にありますが、平成
八年度の実績は皆様のご努
力により前年度に比べ十パ
ーセント前後の向上を予測
できると申しておられます。
会員の皆様！元気で協力
して行きましょう。

尚、新年と八月に刊行の
小冊子「ふれあい」は皆様
の冊子です。読んで、見て、
楽しい原稿を待っています。
◎表紙写真はいつもながら
藤田理事、「迎春」は古市
会員にお願いしました。

(編集委員一同)